水産の窓 2022年1~10月の海況のまとめ

4 - N o . 1 9 令和4年11月18日 茨城県水産試験場

11月以降の海洋観測は、いばらき丸定期検査により実施未定のため、1~10月までの海況をとりまとめました。

<調査船「いばらき丸」による1~10月までの海洋観測結果と今年の海況の特徴(図1~30)>

- 今年は黒潮の流路が不安定で、茨城県沖で離接岸を繰り返しており、水温の変動幅が大きいという結果になりました。
- 1月、3~7月には、茨城県沿岸域が暖水波及による影響を受け、10月には、黒潮が接岸したことで平年よりも水温が高くなる傾向がみられました。一方、2月、8月、9月には、本県沿岸まで暖水が波及しなかったことや親潮系冷水が本県沿岸まで差し込んだことで、100m以深の水温が低下する傾向がみられました。
- 今年の3月以降、親潮の流域面積は平年よりもかなり縮小傾向で推移していましたが、前述のとおり、本県沿岸域には時折、親潮系冷水の差し込みがみられました。
- → 今年の1~10月の茨城県沿岸域の海況は、
 - ・暖水波及発生時には平年よりも水温が高め傾向となるが、暖水波及がみられない時には親潮系冷水が差し 込み、100m以深で降温傾向となる(10月を除く各月)。
 - ・黒潮流路が立ち上がって接岸すると沿岸域が暖水で覆われ、平年よりも水温が高め傾向となる(10月)。
 - ⇒ 以上のような暖水波及の有無や黒潮の接岸によって、水温が大きく変化する。

といった特徴がみられました。

海洋観測の詳細な結果につきましては、水産試験場HPで公開中の「水産の窓」をご参照ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

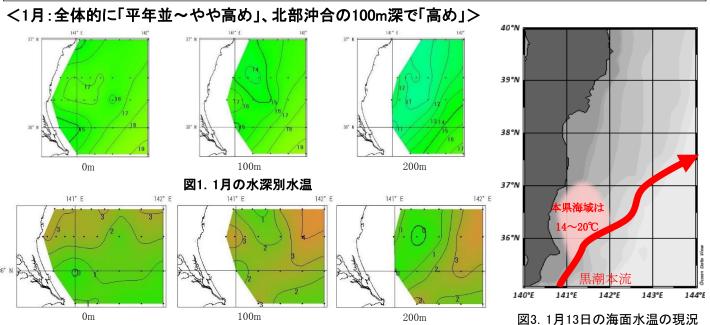


図2. 1月の水深別水温平年差

 <2月:大洗の142° E付近で「やや低め」、他で「平年並~やや高め」>

 100m
 35°N

 38°N
 38°N

 141° E
 142° E

 141° E
 141° E

200m

100m 図5. 2月の水深別水温平年差

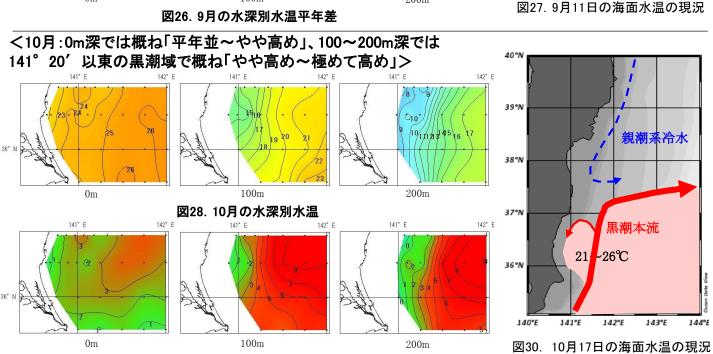
図6.2月13日の海面水温の現況

<3月:0m深では「平年並~やや高め」、100~200m深では会瀬で 「低め~やや低め」、他で「平年並~高め」> 100m 200m 図7. 3月の水深別水温 12~16℃ 36°N 0m 100m 200m 図9.3月8日の海面水温の現況 図8. 3月の水深別水温平年差 <4月:会瀬~大洗で「やや高め~高め」、他で概ね「平年並~やや高め」 $\geq_{a\cdot n}$ 7~9℃ 100m 200m 0m 図10. 4月の水深別水温 142° E 本県海域は 0m 200m 図12. 4月19日の海面水温の現況 図11.4月の水深別水温平年差 <5月:0m深で概ね「やや高め~高め」、100~200m深で「平年並~ 高め」> 39°N 38°N 10~15℃ 100m 200m 0 m図13.5月の水深別水温 36°N 黒潮本流 141°E 図15. 5月15日の海面水温の現況 $0 \mathrm{m}$ 100m 200m 図14.5月の水深別水温平年差

<6月:0m深では概ね「平年並~やや高め」、100~200m深では概ね 「平年並~高め」> 100m 200m 図16.6月の水深別水温 37°N 18~23℃ 36°N 100m 0m 200m 図18.6月14日の海面水温の現況 図17.6月の水深別水温平年差 <7月:0m深では「平年並~極めて高め」、100~200m深では犬吠埼沖 40°N で「やや低め~平年並」、他で「やや高め~高め」> 142° F 39°N 38°N 潮系冷水 100m 200m 0m 図19.7月の水深別水温 141° E 36°N 0m 100m 200m 図21. 7月10日の海面水温の現況 図20.7月の水深別水温平年差 <8月:0m深では概ね「平年並~やや高め」、100m深では黒潮流路で 40°N 「やや高め~高め」、他で概ね「やや低め~平年並」> 39°N 100m 200m $0 \mathrm{m}$ 潮系冷力 図22.8月の水深別水温 図24. 8月4日の海面水温の現況 100m 200m

図23.8月の水深別水温平年差

(9月:0m深で概ね「平年並」、100~200m深で概ね「平年並~やや高め」> 100m 200m 200m 337N 38N <p





[次号予告] R4.11.25.発行の「水産の窓」は、『鹿島灘はまぐりの資源状況』を予定しています。